# 千葉県民間病院協会報

No.**53** 

巻 頭 言

千葉県民間病院協会理事長 木 村 章

変 化

この拙文を書いている今は二度目の非常事態宣言の真っ只中にあります。この状況下で飲食産業がピンチになり結果として漁業や農業畜産業者が苦しくなっています。観光業、ホテル、料亭や旅館業が不況となると高級食材を扱っていた生産業者は引きずられるように経済的ダメージを受け苦しんでいます。一方このような状況下でテイクアウトに活路を見出したり、直接生産者と連携して共に助け合いで難局に対したり、積極的に店舗を縮小し異業種とコラボしたりし企業の姿を変えて行く業界もみられます。生鮮食料品や加工食品を改造した軽自動車で消費者のところに出向いて行く商店主が出てきたりもしています。過去のある時から大型郊外型スーパーマーケットが便利さから各都市に同じ様な会社が当たり前のように存在して当たり前のように利用されてきました。

移動販売は一昔前の八百屋さん、魚屋さん、豆腐屋さんが住宅地にそれぞれの掛け声を上げて販売に来て地域の住人と交流をもったりする気持ちの余裕、豊かさがあった姿に回帰しているようにも思えます。ピンチに対して現在当たり前のようになっていることを延々と繰り返し行くのではなく、視点を変え考え行動して行くきっかけを作ってくれたのが新型コロナウィルスの蔓延であったと前向きに考えてみるのも一つかもしれません。

県民間病院協会は事務局、事務長会の計らいで遅ればせながらホームページを立ち上げ、会 員病院には県の会議内容をより早くお知らせできるように努力、変化をします。さらにB会員 の会社との連携を見えるようにして行くことを計画しております。会議に出席した際には公立 医療機関のためだけではなく民間病院の存在を県にアピール出来る様に心がけて行きたいと考 えております。

愚痴、不満を訴えたり悲観的発言を繰り返すのではなく時や状況を見据えてポスト新型コロナに備えましょう。

目	I	巻頭言	1
	II	上半期収支対比表	2
S.	III	コロナ禍騒動に寄せられた声	3
次	IV	編集後記	6

## コロナ禍騒動に寄せられた声

- ●コロナウイルス感染が報じられてから1年になります。かつて体験したことのない出来 事に翻弄され続けた医療関係者はいまだに対応に追われています。医療崩壊とまで追いつ められ、ようやくワクチン接種に至るまできましたが、感染の終息が見込めるのでしょうか。 感染の報道当初から現在まで当協会事務局には様々なご意見、コメントなどが寄せられま した。主に事務管理者からの嘆きでしたが、見舞われた被害がかつてない事態であったこと が、甚大な被害を被ることになりました。今回こうした声をまとめてみました。
- 1 感染報道当初、コロナウイルスというものがよくわからず、とにかくアクリル板を設置してマスクを着用するようにとのことで、ホームセンターに走りました。施設の部署ごとにアクリル板を設置し、職員にマスクの着用を求めましたが、マスクが全員に回らないのです…。今となっては笑い話ですが、日本経済の底の浅さを思い知りました。それからほどなくして非常事態宣言が発せられましたが、外出の自粛、密集・密閉・密接(三密)を避けるといった具体的な行動指針がありました。それにもかかわらず、感染の拡大に歯止めがかからず、二度目の宣言になりました。政府の危機管理能力のなさにあきれています。(F市 50 床)
- 2 病院職員に感染者が出ました。休ませるのに当初は年次有給か勤務免除か、規定がなく困りました。感染職員から給料は保証してくれるのか、傷病手当金になるのか、当初は困りました。感染した職員から仕事を辞めたいと言われ、看護部の夜勤体制が廻らないことになり、引き留めるのに必死でした。職員の感染にも神経質になり、院内の感染体制にも慎重になりました。身の危険を感じたのか、看護師から複数の退職依頼が出されたときには病院はもうだめかな、と思いました。そのあと、職員に感染者が出た場合を想定して「お見舞、自院保険」の導入も考えましたが、雇用安定資金などでどうにか配慮しましたが、こうした状況のままでは現在の病院経営が維持できるかわかりません。医療崩壊寸前まで来ているという認識です。行政も役に立たず、受け入れ病院がなく、苦労しています。 (F市 190 床)
- 3 雇用維持調整金の申請・給付金に手間暇がかかりすぎる。その間の資金にゆとりがなく、職員が退職したりすることもあった。取引銀行も思うように貸してくれず、どうにもならないことが多かった。病院規模の縮小や病床の削減に踏み切らざるを得なかった。当然、給与の改定や賞与の支給にも影響が出て、働く意欲にも落ち込みが出ている始末です。これからどうやって経営を立て直していくか、頭の痛い問題が山積しています。 (C市 200 床)
- 4 クラスターを出してしまいました。そのほとんどが看護師で入院患者を抑制しなければなりませんでした軽症者が多いのが救いでしたが、自院で入院させるわけにいかず、受け入れ先を探すのが大変でした。軽症者は自宅待機させましたが、数人が退職してしまいました。どうすればよかったでしょうか。中小病院は数人の看護職が欠けてしまうだけで入院医療の維持ができません。こういうときでも近隣の病院同士があてにできず、連携がないのは致命的です。どの病院もそれぞれが自分だけの都合で診療を行っているだけで地域でのつながりに欠けていることに気がつきました。地域ごとに危機管理を考えた病院医療の必要性を感じました。

- 3 -

5 行政からコロナ患者の受け入れをしてほしいと要請されましたが、病床もない、設備もない、資材がないといったないない尽くしでした。そして何よりも医師が受けないのです。それなりの理由は理解できますが、患者からのクレームがすごかったです。医療崩壊の声が叫ばれるようになってプレハブ小屋を建て、発熱患者の外来診療を行いましたが、入院ができず、保健所と受入病院探しに苦労しました。プレハブ設置費用の補助金は助かりましたが、担当する医師・看護師に慰労金をどうするかで悩みました。一回につき 1~2 万円程度出しましたが、それでよかったかどうかわかりません。そのなかで一人の看護師が感染して自宅待機となりましたが、職員から見舞金も出ないのか、といった声があり、見舞金保険の検討も行いましたが、保険料の問題で見送りになりました。こういった危機管理で、日本の医療は何もしないことと同様、多くが現場任せの制度であることを痛感じました。(M 市 400 床)

6 コロナワクチン接種のお知らせが行政から送られてきました。はい、そうですかといえばいいのかわからない。ワクチンによって冷凍庫が必要であったり、一回で済むワクチンであったり、どのワクチンをだれが選ぶのか、よくわからないままで接種する同意をどのように得たらいいのかわからない。副反応が出た場合、どう保障するのかわからない。6月までに全国民の分を確保できるのか、個人が接種を拒否できるのかわからない。ワクチンを接種すればコロナウイルスの終息宣言につながるのかどうかわからない。 (K市600床)

7 院内保育所を閉鎖しましたところ、看護師から何とかしてくれないか、と泣きつかれて夜間保育だけ実施しています。 夜間をやらないと夜勤ができなくなるのでやむなく実施しています。今後どうすればいいのか、話し合う予定です。子どもを預けている看護師は退職を予定しているので、頭が痛い問題です。 (K市 250 床)

8 県庁から医療関係者に対するワクチン接種に協力してほしいとの依頼を受けましたが、各病院団体の意思統一がわからないのでどうにかならないかと相談を受けました。会員の医師に意見を伺いましたところ、安全性、有効性、確保等についていろいろな意見がありました。接種について受ける・受けないの個人の意志の事由はないのかという意見もありました。これまでのウイルスに対するワクチンの作成は10年くらいの基礎研究がありましたが、今回の場合はわずか2年程度で作られている。そのうえ治験規模も何万人という単位です。これで有効性を信じていいのか、という疑いが消えません。万が一接種事故が起きたらだれがどうしてくれるのか、なにもわからない。不安です。 (協会事務局)

9 これまでの損失や減収をどうすればいいのか教えてほしい。借金が増えるばかりです。いずれ融資をしてもらえない時がくるので、それまで病院が持つのか心配です。病院同士で助け合うことができずにいるので、このままでは弱肉強食の道を歩むしかないのではないかと考えています。地域で助け合うことがなければ、こうしたコロナ禍のなかでは生き延びていけないような感がします。 (N 市 450 床)

#### 改訂 9 版 看護補助者のための医療現場入門 テキストの販売

○当協会看護管理者会が執筆しております改**訂9版看護補助者のための医療現場入**門の取り扱いをいたします。各病院の教育現場でお役立てください。

お電話・メール等にてご連絡ください。

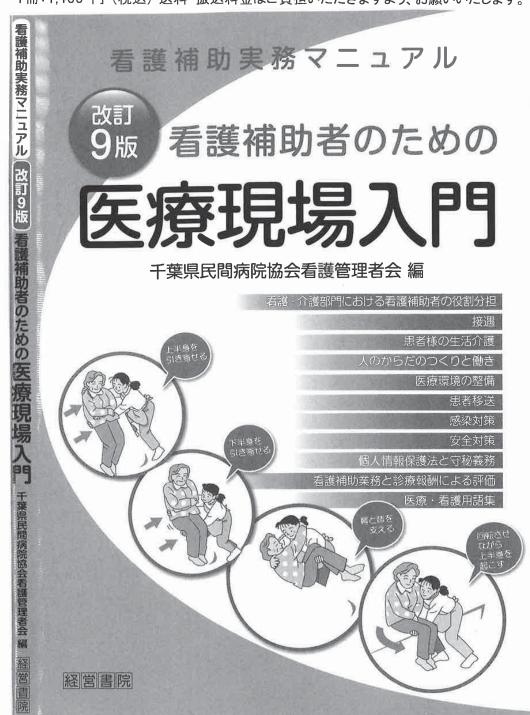
**8** 043-248-9921

E-mai: cmbk.chiba@aau.netconnect.jp

申込み用紙を FAX・メールにて送付・添付いたしますので返送・返信願います。

出版 経営書院 看護補助者実務マニュアル 千葉県民間病院協会看護管理者編 改訂9版 看護補助者のための医療現場入門

1冊:1,430 円(税込)送料・振込料金はご負担いただきますよう、お願いいたします。



### 編集後記

- 2021 年を迎えました。昨年は前代未聞の新型コロナウイルスの拡大感染に見舞われ、 3月現在いまだに終息の兆しも見えないありさまです。 7月開催予定のオリンピックは どうなるのでしょうか。こうしたコロナ禍によって何もできない 2020 年でありましたが、 ワクチン接種が始まった本年は終息宣言が発せられるでしょうか。
- ●非常事態宣言が発せられた1月からひと月を迎えた今感染者数は拡大の一途をたどっております。2月7日に宣言がさらに一か月延長されました。このままでは都市封鎖の道もあるのではないでしょうか。こうした状況に鑑み、本協会の研修事業はすべて凍結しております。ご了解ください。
- ●コロナ禍騒動のなかで各会員はどんな思いで対応されたのでしょうか。事務長部会の 方々から寄せられた声を集めてみました。どうにもできない、どうにもならない状況のな かでもがき苦しんだ姿が思い浮かびます。どうか耳を傾けてください。
- ●当初予想した通り、7年8カ月続いた安倍政権も辞任で幕を閉じました。もう限界だったのでしょう。アベノミクスの一つも成し遂げることもなく、政権を投げ出してしまいました。言うだけ、スローガンだけの政治でした。本人は夫人同伴で外遊を百回近く一向に成果もなく、遊び歩いてきました。何とも国民もなめられたものです。
- ●令和おじさんと呼ばれ、たたき上げと期待された菅新首相が誕生しました。当初70%の支持率があっという間に30%に急落してしまいました。Go to トラベルにこだわるあまりコロナの感染拡大が抑止できず、ようやく国民の命の大切さに思い至ったようです。ようやく遅ればせながら非常事態宣言を発しました。国民に抑制と我慢を求めながら、率先して深夜に銀座で会食に興じるあたり、政治家にふさわしいのかどうか疑問ですね。政権与党でも夜遊び好きな政治家のウソがばれ、議員辞職をしたり、要職から外されたりする輩が後を絶ちません。今度の選挙で国民の思いを知らせてやるしかありません
- ●このコロナ禍のなか、遅ればせながら、本協会でもホームページの開設作業を行っております。新年度の開設に向けて鋭意作業中です。ご期待ください。
- ●今回も23社のB会員から協賛広告を頂戴しました。記して感謝申し上げます。

(三浦)

発 行 令和3年3月31日	<b>発行所</b> 〒 260 - 0026 千葉市中央区千葉港7-1
部 数 350部	ファーストビル千葉みなと 3F
発行者 木 村 章	一般社団法人 千葉県民間病院協会
2011年 74 17 平	TEL 043 - 248 - 9921
編集者 三 浦 昇	FAX 043 - 248 - 6672
	E-mail:cmbk.chiba@aau.netconnect.jp